ユマニテクプラザ5者連携セミナー
『産学官連携で実現する産業競争力の強化』
～コロナ禍での新たな挑戦＜DX などの活用も行いながら＞～

会場：ユマニテクプラザ玄関ホール（予備会場 3F 300 研修室）
2021 年 10 月 22 日（金）15:00 ～ 17:00

講演 1

15:00 ～ 15:30
「産学官連携による脊椎疾患治療の有効性評価」
三重大学副学長兼北勢サテライト長　稲葉　忠司 氏

ヒトは脊椎動物の仲間である。脊椎とは一般的には背骨のことで、24 個の椎体とそれを連結する椎間板や靭帯によって構成されている。脊椎の役割には体重を支える働き、体に柔軟な屈曲や回旋等の動きを与える働き、脊椎の中を走る神経を保護する働きの３つがある。この脊椎が病気や怪我によって損傷を受けてグラグラになったときは、体内固定具と呼ばれる金属の器具で、損傷した脊椎を固定する手術を行う。本講演では、この脊椎固定術の有効性を評価するために産学官が連携して取り組んだ成果について紹介する。

講演 2

15:30 ～ 16:00
「DX を活用した地域産業競争力強化の課題と解決方策」
東京大学　地域未来社会連携研究機構長　松原　宏 氏

地域産業の競争力強化にとって、DX は重要な機会を与えるものであるが、一方で企業間・地域間での格差が拡大する懸念もある。本講演では、経済産業省地域経済産業分科会での報告書、三重県でのアンケート調査結果をもとに県内産業の競争力強化の課題を指摘するとともに、その解決方策を提案する。

講演 3

16:00 ～ 16:30
「四日市製造業 DX への挑戦」
(株)FIXER　代表取締役社長　松岡　清一 氏

コロナ禍において、デジタルでビジネスやコミュニケーションの「つながり方」を変えるデジタル・トランスフォーメーション（DX）へのニーズが高まっている。DX はグローバルで急速に進展する潮流であり、日本企業、とりわけ四日市の製造業が競争下で生き残っていく上で避けることができないチャレンジである。

本講演では FIXER がこれまで支援してきた DX の事例として、組織のペーパーレス化に寄与したソフトウェア、顧客接点のあり方を変える起爆剤となるバーチャルイベント、開発における SIer 依存を変革する銀行におけるノーコード技術などについて紹介し、これらの事例を通じて、DX を成功させるための物の見方や、それを支えるクラウド・ＡＩ技術、組織変革のためのマインドセット等について論じる。

講演 4

16:30 ～ 17:00
「フラーが取り組む、地域のデジタル推進」
フラー (株) 人事広報グループ長　川野　晃太 氏

フラーは、2017 年に新潟県に進出し産学官連携を進めて来た。また、三重県においてはこれまで鈴鹿高専とデジタル教育推進の取り組みを進めており、今年度は同校において１年間の特別プログラムを通じて、DX 人材の育成を支援している。

本講演では、上記に加え、三重県出身者として個人的に取り組む真珠養殖工場の新たな活用に対する試みも紹介する。新潟県での事例や鈴鹿高専との取り組みを紹介することにより、コロナ後に期待される新たな産学官連携のあり方へのヒントとなれば幸いである。

主催：三重大学　東京大学　三重県　三重県産業支援センター　みえ大橋学園

Humanitec Plaza
〒510-0074　三重県四日市市鵜の森 1-4-28
TEL　059-359-4877　https://www.humanitec-plaza.jp